

つながりは「出会う」ことから始まります。
情報に出会い、イベントに出会い、人に出会う
気になった人、活動と出会うことから始めてみませんか？

身近なまちで何が行われているか
知りたい方へ



ちよだコミュニティラボ

千代田で活動する人と出会い、 話し合える交流イベント

千代田区をフィールドとする地域活動団体、
NPO、企業、町会、大学が集い、お互いの活動を紹介しながら、
千代田区の可能性について話し合う交流イベントを開催しています。

ちよ活ゼミ

テーマに関心ある人が集い、既に実践している人の進め方を
学びながら、自分らしい千代田での活動の進め方を共に考えます。

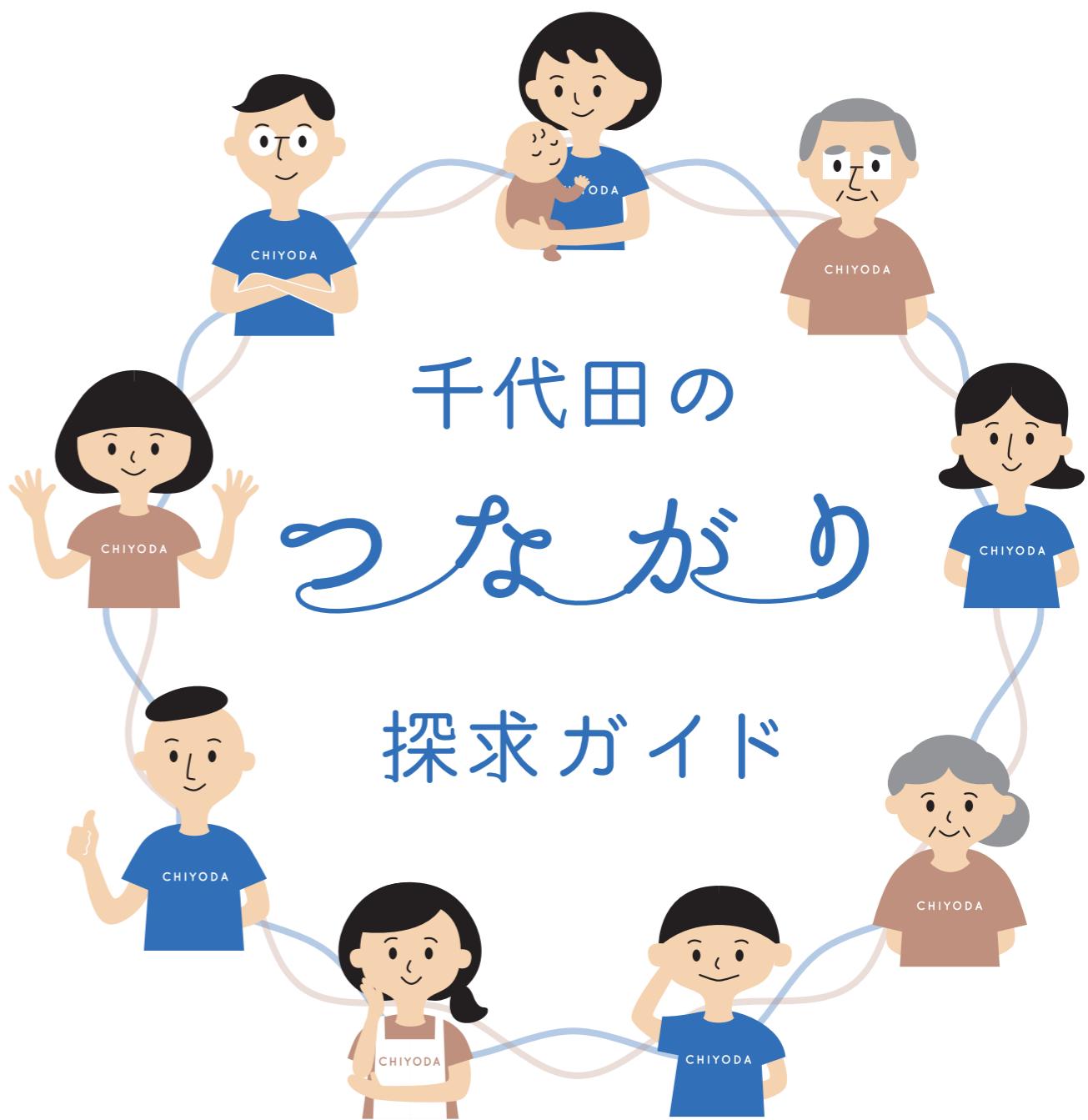
ちよだコミュニティ ラボ"ライブ"!



3年間の活動を通して、千代田区には多様な人のつながりがあることがわかりました。ライフスタイルも価値観も多様化する中、一種類のつながりで全てをカバーするのは難しいでしょう。しかし個々には小さなつながりでも、それがつながり、一つの大きなコミュニティをつくりていける可能性が見えてきました。まず、誰かと出会ってみる。そこから地域を知る人と知り合うことで、世界が広がるかも！

つながりの窓口のある人**7割**を実現し、

地域とゆるやかにつながっていると思える地域を目指します。



千代田を、暮らす場、自分を活かす場として
豊かにする動きを始めている人たちがいます。
そこから新しいつながりが広がり、新しい可能性が生まれています。

あなたも一緒に、千代田のこれからを創りませんか？



ちよだコミュニティラボは、

都心のまちで、どのようにつながれるのだろう?

どのような可能性があるのだろう? を考えるために始まりました。

どんな地域?
千代田区って



暮らす場所として
選ぶ人が増加中!

約4万人 x1.7 約6.6万人
2000年4月 2020年3月

- 居住10年未満の人が約5割
- 4歳未満の子どもの数は10年で2倍に
- 外国人が5%
- 共同住宅居住率9割以上

100年以上の
老舗・企業 約460

昼間人口は85万人

- 再開発が進んでいる
日比谷ミッドタウン
東京ガーデンテラス紀尾井町など
- 伝統と文化を表す町名
江戸火消からの自治意識
- 日本野球、東京大学、ラジオ
体操会など多くの“発祥の地”
- コワーキングスペースなどの
交流の場
- ラ・フォル・ジュルネTOKYO
など新しいイベント

都心の町に
つながりつ
あるの?



伝統ある町会を基に、つながりが強い地域でしたが、地域の変遷とともに、その形は変化しています。

~1980年ごろ

地域で商売・仕事も生活も
する人たちが中心になって
町会を運営し、つながりを
守っていました。

単独世帯は
53.2%

うち高齢単独世帯 9.5%、
夫婦のみ世帯 13.8%

~2000年ごろ

オフィス開発で
住んできた人が減り、
在勤者の地域に

伝統・つながりを守る動き

地域の団体活動、サークル活動の
つながりのある人は
10.3%

都心回帰、
マンション開発で
暮らす人が増え、
新しい関係性も
生まれ始めている。

町会に加入している人は
56.3%

これまでの発想に縛られず、
どうつながるか、大きなテーマです。

これからの
千代田の
コミュニティって?



かつての千代田では、商売・仕事も生活も同じ町ですることで、**お互いの顔が見える関係**があり、それがつながりの強さとなっていました。近年、急速に人口が増えていますが、その分、お互いの顔が見えていない関係が広がっています。相手がどんな人かわからないとつながるのは難しいものです。

まず出会ってみて、話してみて、一緒に何かをしてみる。**身近に顔の見える人がいることで、町を身近に感じ、暮らしの安心感も楽しさも広がるでしょう。**

この冊子では、ラボの活動で出会った人を紹介しています。身近な場所で、こんな活動や生活をしている人がいることを知っていたいと思います。そして、ラボのページから活動やイベントを知り、出会ってみて、千代田の奥深さを体験したり、自分の新しい活かし方を見つけてみてください!



データ出所 国勢調査(H27年)、千代田区民世論調査(R1年度)
行政基礎資料集(R1年度)、千代田区資料、東京都資料

ちよママは【都会の子育て応援プロジェクト】をテーマに、千代田区の子育て世帯を応援する団体です。自らの妊娠出産育児の経験を通して、都会ならではの孤立しがちな地域の状況や、子育てに関する情報格差に課題を感じ、2014年に3人のママで立ち上げました。子どもを通して新たな友人(ママ友)に出会えたり、子育てをしながら趣味や勉強ができる。飲み会や息抜きも一人だと諦めがちですが、子育て世帯が繋がり合えば、子どもも親ももっと楽しめると考えています。口コミから始まり、イベント開催や情報発信を通して仲間が広がり、今では約400世帯が集まるコミュニティになりました。千代田区には様々な分野で経験豊富な人が多く、地域資源も豊か。それらをつなげたら、他の地域と違う子育て環境ができそう!とワクワクしています。

NPOでは、共同住宅の設計段階から入居者が協力して建てるコーポラティブハウスを区内に7棟建ててきました。オフィス開発が進む町でつながりながら住み続けるには?と模索しながらの取組みです。近年は、築年数が古いマンションの建替え支援の仕事も増えています。60年代に日本で最初にマンションが建てられた千代田区でニーズが増えています。また、海老原商店を活かす会、神田珈琲園再生プロジェクトなど地域の魅力を残す活動にも関わっています。私自身も、神田のコーポラティブハウスに住み、入居者や地域の方と助け合いながら暮らし続けています。街や人を思いながら暮らし続けていけるには何が必要か考え、実践していかたいと思っています。

住み続けることができる
千代田を目指して
コミュニティづくり



関真弓さん
NPO都市住宅と
まちづくり研究会
事務局長

都心の新たな子育ての
在り方を発信していきたい



勝連万智さん
ちよママ代表

伝統を受け継ぎながら、
新しい神田の姿を
探っていきたい



斎藤光治さん
斎藤コーヒー 代表取締役
神田公園地区連合町会会長
内神田錬倉町会会長
民生委員

困難な時も相談でき、
リラックスできる
居場所をつくりたい



高橋孔明さん
株式会社MOF
(よろず相談所 MOFCA)

内神田で、戦後すぐに父が立ち上げた斎藤コーヒーを経営しています。この店は、神田で70年以上、日本の珈琲文化を見つめ続けてきました。

内神田錬倉町会会長として、また神田公園地区連合町会会長として、町会の運営に携わっています。私が町会活動にはまり込んだのは、昭和60年の神田祭で木頭を務めてたことがきっかけです。それ以来、町の仲間たちと工夫しながら町会活動を守り立ててきました。近年、町会は大きく変化しています。地域のコミュニティ活動に熱心だった方々が世代交代や転出する一方で、急速に新しい住民の方が増えています。最近、子どもの就学や神田のお祭りへの参加がきっかけとなって町会へ参加される方は年々増えているようです。この町は江戸時代から日本の中心近く、その時に勢いある人たちが入ってきました。いつも人の出入りがあり、それが神田の活気の源でしょう。新しい人にも今の神田は先達が脈々と受け継いできたものであることを伝えていきたいですね。

竹橋のパレスサイドビルの1Fで、障害者よろず相談所を運営しています。障害のある方やそのご家族、うつ、引きこもりや不登校など心や体で心配ごとがある方が、気軽に立ち寄り、誰に相談したらいいかわからない事も相談できる場所です。相談される方と一緒にゆっくり考えながら、区内の行政機関や専門機関とも連携してゆっくりな一步のお手伝いをしています。

斎藤会長との出会いが新しいつながりに!

MOFCは新しい活動であるため、地域の方に知っていたらいいか悩んでいました。19年3月の交流イベント「ちよだコミュニティラボライブ!」で、民生委員もされている内神り、後日、MOFCに訪問してくださいました。「常設で困っている人が相談できる場は大切」と仰ってくださいり、区の民生委員のMOFCの取り組みに耳を傾けて下さり、延40名以上の民生委員のご協力でMOFC相談事業の展開につながりました。

情報の分かち合いから
つながりは始まります

田近恭一さん

小川町三丁目西町会町 会長
神田公園地区連合町会HP
「大好き神田」担当

他の人が知っていることを自分が知らないと取り残されたように感じる
でしょう。神田公園地区連合町会のホームページ「大好き神田」は、住む人、
通う人が、町の活動、人、祭り、歴史などの街の情報を公平に共有できる
ように運営しています。

千代田区の魅力を情報発信

渡辺美樹さん

一般社団法人 千代田区観光協会

千代田区の観光情報や区内で活動する観光関係のイベント等の
情報をホームページで発信しています。また、観光案内所で千代
田区を中心に東京都内や全国の観光案内パンフレットを配布し
ています。地域参加の第一歩は、まずは地域イベントへの参加。こ
うした情報は、在住、在勤、在学の方にもご活用いただけます。

バリアフリーマップづくりから
歩きやすい町づくりへ

金子久美子さん

NPO法人リープ・ワイズ・ドリーム 代表

「歩きやすいまちって何だろう?」をテーマに、町のバリ
アに不自由を感じている人、感じていない人が集まり、
まち歩きをしながら、バリアフリーマップ作りをしていま
す。この活動がいつかは歩きやすいまちづくりへつな
がればと思っています。

人を知り、町を知る学習を実施

杉崎和久さん

法政大学法学部 教授

市民参加型のまちづくり研究の授業の中で、学生に
千代田区の多様な分野で活動をしている人へのイン
タビューをしてもらいました。千代田区にも多くの活
動、千代田区ならではの取組みがあり、それぞれの活
動に取り組む人の思いで地域が支えられていること
を知ってもらいたいと思います。

すれ違い際に挨拶できる街を！

山森彩香さん

あるまっぷ半蔵門・麹町実行委員会

半蔵門や麹町で暮らし違う人が、すれ違いに「こんに
ちは！」と挨拶できる関係ができればと考え、地域の
お店等を「あるまっぷ」で紹介しています。また、紹介
したお店が展出する「ふれあいHELLOマーケット」
を一番町で毎月開催しています。

町の情報を
共有する

まちにあるものを
伝える

町のとっておきを
一緒に楽しむ

渡辺美鈴さん

CCxTokyo 代表

IT企業に勤務しながらの子育てが一段落した時、千代田
区に住んでいるのに「千代田のこと知らない」と感じました。
調べ始めると千代田区の魅力をどんどん見つけ、独自でまち歩きを企画するようになりました。住んでいるからこ
そ感じる季節の移ろいや景色や、歴史、とっておきのお店や商品を、参加者の人と一緒に楽しんでいます。

川西諭さん

上智大学 経済学部 教授

就学準備教室で
小学校入学前の不安を払拭！

村上沙織さん

就学準備教室 リリーふ 代表

小学校入学後に集団生活に馴染めない小1プロブレム
の解消をモットーに、就学前の4-6歳の子どもが小学
校の授業を体験する教室をしています。都心の街で
は、入学前に集団行動の経験の少ない子が多く、親御
さんも相談相手を見つけづらい状況があります。区内
各地で開催しているので、ぜひ体験してみてください。

My Community Story

わかつちあう

まちで子どもを
育てる



経験・知見を
共有する

現役時代の知恵と経験を
地域に活かす



小林孝さん

NPO法人 シニア大楽

シニア大楽では「シニアのこれまでの経験や知識・趣味を活
かし講師になり、社会貢献」を目的に活動しています。登録し
ている講師は400人以上。自治体などの講座や芸能会で活
躍しています。ビジネススキルだけでなく趣味や子育て、旅行
経験なども。私も趣味のマジックを披露して皆様に楽しんで頂
いています。



「地域で子育て」を支援

NPO法人
あい・ぼーとステーション

子育てひろば「あい・ぼーと」麹町の運営や、子育
て相談、一時保育を通じて、地域の子育て・家族を
支援しています。また、子育て世代だけでなく、多
世代が交流し、地域で子育てをできるように、カ
フェの運営や支援員の育成などもしています。



親子で遊びに来られる場所を

神野里砂さん
子育てサロン「セボン」代表

子育てしている方のお出かけの場所や交流の場所になればと、幼
稚園教諭の経験を活かし、子育てサロンを立ち上げました。セボ
ンはフランス語で「いいね」という意味です。英語の絵本シリーズ
の読み聞かせや季節ごとのクラフト作りなどをしています。保護者
同士のつながりが広がるサロンにできればと思っています。



食育・花育・復興支援で
心身の健康力をアップ！

堀口美恵子さん
大妻女子大学短期学部 教授
食育ボランティアグループ「ぴーち」主宰

食を通じた幸福感の共有を理念に、学生や卒業生と共に食育ボ
ランティア活動を行っています。親子や多世代を対象に、食を通して
交流するイベントを開催し、食の大切さを伝えたいと思って
います。また、三陸の和ぐるみ、みかん・玉ねぎの皮から抽出する
色素を用いたエコな染色クラフトなども取り入れ、快適な生活環
境を健康の維持増進につなげる活動も目指しています。



海外の方をOur
コミュニティでおもてなし

川村貴美江さん
Chiyoda Community Connection

ボランティア観光ガイドを目指す、千代田区在住、在勤のアクティブ
なシニア世代が集まり、ガイド英語やガイドスキルを学んでいます。
また、英語ガイドにとどまらず、これからの中高年社会に生きる個人として
積極的にコミュニケーションし、異なる文化の価値を共有する
「Ourコミュニティ」をつくり、海外の方と交流したいと思います。



飯田橋
麹町 市ヶ谷



地域愛を育む、まち歩き学習を実施

番町を中心に、住む人、働く人、学ぶ人など多様な立場の人達で、
上智大学の学生・教職員が作ったクイズなどのミッションと一緒に
クリアしながら、ともに街を歩く「まち歩き」学習プログラムを開催
しています。街への愛着につながってほしいと考えています。

町の友達を増やそう！



ちよとも
高橋孔明さんら

千代田区に関わる人が知り合い、友人となれる場があればと、月に1度、テーマのもとに全く見ず知らずの人でも話せるようにワールドカフェなどのイベントを行っています。ゆるく楽しく繋がることがモットーです。おしゃべりの中から新しい自分に気づくこともあります。また、3年間の活動から、高校生と参加者の交流、オフ会、大学や企業との交流など、私たちの目指す繋がりが生まれています。



地域の地縁で地元を盛り上げる！

高橋徹さん

築土神社氏子青年会 築和會会長
竹の会会長
飯田町町会総務部長

千代田区飯富九地域には、築土神社の氏子青年会「築和會」や、地域の親睦ボランティア団体の「竹の会」など、地域の若手が町会の枠を超えて繋がり活動する会があります。神社や町会行事のお手伝いや地域の親睦イベントを企画運営しています。地元の活動をする若手の担い手が減ってきてますが、地域に関わる人同士で親睦を図り、地元を盛り上げたいと思っています。



マンションでつながろう

令和元年千代田区民世論調査で「現在関わっている地域のつながり」として「同じマンション内のつながり」は23%でした。災害への備えとして、建物の共有者としてマンション内のつながりは大切ですが、「近すぎて、つながりにくい」という声もあります。

マンションの規模も文化も異なるため一概には言えないのですが、自分達の暮らしの基盤をシェアする人と、ゆるやかなつながりを持ってみませんか？

第一歩として、マンション内アンケートで声を共有することから始めてもいいでしょう。「公益社団法人まちみらい千代田」では、マンション管理組合の連絡会、マンションでのイベント実施への助成も行っています。マンション住民が町会に参加し、祭り、イベントなど一緒に取り組む体験を共有することは、マンション内のつながりづくりにも効果があります。

マンション管理に住民の声を活かす

マンション内の交流のために、クリスマス会の飾りつけや懇親会をします。また、マンション管理が独善的にならないように住民ネットアンケートも行っています。アンケートの中に「町会とのつながりが大事」という声があり、まずは理事長が町会活動に参加しました。そこから住民の方への町会の情報提供、町会参加の呼びかけを行い、参加者も増えています。

アルファグランデ千桜タワー 管理組合

ちよだで働く人がつながるミートアップ



山口若葉さん
千代田区100人カイギ
事務局

千代田のいいコトを発信



林昌明さん
Chee's

千代田区に居住もしくは拠点をもっている方の中で、素敵な働き方・活動をされている方を毎回5人お呼びしてお話を伺い、そこから交流を広げる会を、2018年からNagatacho GRIDなどの区内のスペースで開催しています。千代田区には本当に多彩な人がいることがわかります！

つながる機会を広げる



マンションでつながる



多様な交流の機会をつくり、マンションのつながりづくり

柿内健介さん
東京パークタワー 管理組合前理事長

マンションの約300世帯がお互いに知り合う機会を広げたいと、防災訓練、納涼懇親会、サマーコンサート、住民の作品を展示する文化祭など、多くの方が参加でき、一人でも知人を広げるような場を開催しています。住民の多彩な力を活かしていただければと思います。また、マンションも地域の一員として顔見知りを広げることが大切だと考え、管理組合に町会担当を決めて町会活動にも参加しています。最初は町会への参加に戸惑う人も多いのですが、参加すると楽しさを知ります。最近は神田祭、新年会などの行事に住民が参加し、交流を深めています。

つながる

編み物でボランティアと居場所を！



萩原純子さん
編み物ボランティアグループ
ひつじの会代表

好きを活かしてつながる



おもてなしランナーと一緒に皇居や皇居ランの魅力を伝える

尾口優子さん
一般社団法人 おもてなしランナー協会

皇居を訪れる人みんなが安心して楽しめるよう、歩道利用のマナーやルールを決める検討会をきっかけに、ルールの普及と皇居ランナーが海外からの訪問者のためにできることがあると考えて活動が始まりました。皇居の魅力や皇居ランの楽しさを伝え、おもてなしをする人（おもてなしランナー）を360人以上育成してきました。皇居には様々な魅力がありますが、住んでいる人、通っている人に十分に伝わっていないと感じています。みなさまも走ってみていただきたいと思います。

地方と都市の「自然・環境・暮らし」をこども達に知ってほしい



津田真知子さん 金刺幹子さん
秋田県五城目町・千代田区こども交流会

姉妹都市である秋田県五城目町と千代田区の小学生がお互いの町を交互に訪れる民間交流を10年以上実施しています。五城目町で開催時は、野菜収穫、雪遊び、郷土食作り等を体験し、千代田区で開催時は、大企業や大学、皇居等を訪問し環境の取り組みを見学します。ホームステイも行い、色々な体験を通して交流を深めています。

そば打ちで地域との接点づくり



伊藤千秋さん
ちよそば会 代表
麹町在住

妻の勧めで中高年男性向けのそば打ち教室に参加したメンバーで、ちよそばの会が立ち上りました。そば打ち技術の向上、体験会や出張授業でのそば打ち文化の紹介、地域のお年寄りへそばを振る舞うボランティアを行っています。私自身は、ちよそばで知り合った若い人との交流も進み地域の仲間も見つけることができました。

仲間と一緒に旅で脳活



岡村さち子さん
旅脳活ちよだ 代表

脳活も兼ねた旅行サークルを主宰しています。会員一人ひとりが、旅行の計画づくりから旅の道中まで、受け身でなく、活動に役割をもって参加することが脳活につながると思っています。認知症にならないようにと楽しみながら活動しています。後期高齢者になってから、初めてのマンションひとり暮らしなとなり、変化に戸惑いながらも新しいつながり方を模索しています。

アマチュア無線や電気工作で交流し、電気街を盛り上げる！



小林大輔さん
秋葉原無線部 代表

電気電子やコンピュータ技術で世界が注目する「電気街」をもっと多くの人が楽しく遊び学べる街にしていきたいと思い、アマチュア無線や電子工作を通して交流する活動をしています。アキバとして世界的に名を知られるのは裏腹に、電気街の電気電子店は衰退しています。電気街がこれからも世界の期待に応えられる街であり続ける方法をみんなで考えていきたいです。

ご当地プロレスで、
子どもたちや地域を元気に！

根岸雅英さん
神田プロレス代表



親子連れを土日の神田エリアに集まつて楽しんでもらうために、神田エリアのイベント会場や神田明神などで、ご当地レスラーによる、ちびっこプロレス教室やプロレス試合を開催しています。親子で楽しめる地域の活動発表も同時にっています。神田には土日で親子が楽しめるものがないので、家族で町を楽しめる機会を広げたいと思っています。個人的には、演劇経験を活かし、新たに劇場で子供を預かるエンタメ型の保育にもチャレンジしています。

長唄を世代・地域を広く取り込むコミュニケーションツールととらえ、地域資源や伝統文化への関心を高めたいと活動しています。例えば「街の記憶を三味線と凹凸地形でたどる」というトークライブでは、神田明神や日枝神社周辺を演奏とともに掘下げました。

長唄をきっかけに広がる
つながる



津守恵子さん
街いっぱいの長唄・
江戸長唄ごひいき衆

千代田区の人と
地域を繋ぐ！



三浦裕介さん
麹町消防団第一分団 団員
都市計画審議会委員

これまで、在住・在勤・在学生を繋ぐコミュニティの創設、消防団活動、町内会での山王祭の御神輿担ぎ、高齢者の介助サービスなどに関わり、地域の困っている人と助けられる人を繋ぎ、共助・共創の心を学びました。また、こうした経験から、区民の思いと政策もつながればと、都市計画審議会にも参加しました。さらに食をテーマにした活動も取り組み始めています。これからも人と人が繋がる事を大切に「率先垂範」をします。

持続可能な行動を
子どもたちが自ら実践できるように



櫻井真紀さん
SDGs
子ども勉強会プロジェクト

子育ても仕事もUPDATE！



平田江梨子さん
Chiyoda Update代表

区内で勤務しながら2人の子育てをしています。育休中の時間を自分のスキルアップに活かしたいと考え、VUCA時代の仕事に活かせる力を共に学ぶ場「Chiyoda Update」を立ち上げました。子育て中のビジネスパーソンが、仕事も子育ても暮らしも充実できるよう、SNSを活用した地域の情報の発信、皇居ランなども企画運営しています。

町の新しい 魅力をつくる

看板建築を活かし守る



海老原義也さん
海老原商店を活かす会 代表

ともにつくる

伝統を継ぎ、
新しい展開も

My Community Story

継いだお店を地域に開く



鳥山貴弘さん
モラルテックス
タオルカフェ 代表

神田のタオル卸問屋の3代目を継ぐことになり、サステナブルなタオルの生産・提供をする会社を立ち上げたり、タオルショップ＆カフェの経営を始めました。カフェではワークショップや落語の会、地域の人を集まるミートアップも開催されています。大学卒業後、経営コンサルタントなどを経て家業を継ぐことになり、事業でも地域づくりでも新しい道を探っていきたいと考えています。

ちょコレで地域を学び
自分が広がる！



佐藤広志さん
神田稻荷湯三代目
ちよだ生涯学習カレッジ
第2期卒業生

銭湯の新しい可能性を探る



内神田で60年以上営業する銭湯「稻荷湯」の三代目です。稻荷湯には地元の方だけでなく、近隣で働くビジネスパーソンや、国内外の観光客など、様々な方が来店します。そんな銭湯を私は異文化が交わる空間であると捉え、1月には銭湯の定休日を利用し、「イスラム教×日本」というテーマでイベントを開催しました。皆が同じ入浴料を払い、平等な立場で利用できる銭湯では年齢や国籍、宗教の壁はありません。新たな銭湯の可能性を日々模索しています。

新しい学びを 広げる

地元のつながりは、
人生100年時代の資産



宮木由貴子さん
区内在住
シンクタンク勤務



弁護士のソーシャルな
活躍の場をつくる



及川浩二朗さん
サンサン会代表
ちよだ生涯学習
カレッジ第1期卒業生



木下万暉さん
麹町在住
サウスゲイト法律事務所・
外国法共同事業 弁護士

定年後という人生の第3ステージに、仕事、社会貢献、遊びの3つをバランスよく楽しめる人を増やしたくて、「サンサン会」を立ち上げました。私自身も定年退職前から地域に関わり始め模索しながら仲間を増やしてきたことで、退職後も楽しく活動できています。ライフシフトや地域での起業に役立つ勉強会や交流など活動を広げていきたいと思います。



まちで助け合えるように
電気工事の勉強会を開催

横田達之さん

電気工事部会
小川町北部二丁目町会 会長

千代田区では火災の7割が電気火災によるものです。また、災害が起きた時に最も早く復旧が望まれるのは電気です。「まちの電気屋さん」がなくなり、町で電気トラブルが起きた時に対処できる人がいないことが課題と感じ、電気工事士2種の国家資格に挑戦し、78歳で合格しました。この趣旨に賛同した青年部や地域の人と一緒に資格取得を目指して週に1回の勉強会を開催しています。ご関心のある方は、ぜひ神田公園出張所にお問い合わせください。



絵本がつなぐ世代間交流

新井克巳さん

NPO法人 りぶりんと・ネットワーク

シニアボランティアが、小学校の朝の時間などに絵本の読み聞かせをする活動をしています。シニアの方が地域に関わる一つの活動として、読みきかせを学ぶ講座は人気です。この活動を通じて、多世代交流が広がってほしいと思っています。また、個人として、がん体験を共有する活動も始めています。支え合える地域を実現したいと考えています。

日本語学習から文化交流、
ボランティアまで

中村三千子さん

ちよだ日本語カフェ Swan 副代表

千代田区にある日本語ボランティアグループです。外国人に日本語学習のお手伝いや、日本文化の紹介を通じて、もっと日本を好きになってもらうことや、日本語学習により平常時、災害時の日本語弱者を減らすことで地域社会貢献のお手伝いをしています。社会福祉施設への訪問を通じて、地域の皆さんに外国人を身近に感じていただくことで、国際交流に貢献することを目指しています。

フレンドシップちよだ

NPO法人 国際活動市民中心

外国人の日本滞在が楽しく有意義であることを願い、外国人に日本文化を紹介したり外国文化を地域に紹介したりする活動を行っています。

言語・文化等の違いによって問題を抱えている方々の問題に丁寧に対応するための在住外国人支援活動、および日本社会側の自治体や市民ボランティアの方々への理解を促進するため、担い手養成や国際理解の推進、研究・開発の活動を行っています。

安心して暮らせる つながりを



外国人との交流& 国際協力



私でも出来る途上国支援を
千代田区から

佐藤静香さん

特定非営利活動法人
地球の友と歩む会 (LIFE)

水・緑・人で国際協力をテーマに現地NGOと一緒に自然環境と共生した貧困削減を目指す活動を飯田橋で行っています。活動地域は、南インドとインドネシアのスンバ島です。エスニック料理や民族衣装に興味がある方がチャリティーお茶会をするのも途上国支援です。自分できることと一緒に考えませんか？ ラボラティブ！での出会いがきっかけで、障害者福祉センターえみふるの利用者の方に切手の仕分けボランティアをして頂きました。

地域密着型の高齢者福祉施設ジロール麹町で、認知症の方や介護をしているご家族、そして地域の人たち、専門家などが気軽に集い、お茶を飲んだりしながら交流ができるカフェの店主をしています。麹町にはマンションの一人暮らしの高齢者の方も多いので、いつでもフランクな人がお茶を飲めて、いざ何か不安なことが起きたとき、話せる居場所になればと思っていました。近所のサラリーマンやママにも利用いただいているので、ぜひお立ち寄りください。

不安になったらいつでも
話せるカフェを麹町に



柴山延子さん

きのこカフェ（認知症カフェ）店主
(ジロール麹町)

たすけあう

My Community Story

傾聴とミニイベントで居場所づくり



青木奈美さん
ふれあいサロン
クローバー代表

もともと専業主婦で、再就職をする前に「傾聴」講座に参加したことをきっかけに、講座の仲間と地域のサロンを立ち上げました。サロンでは、地域の高齢者の方に楽しんで頂けるように、落語、アロマ、整体などのイベントと傾聴をセットに実施しています。最初は軽い気持ちでしたが、志の高い仲間に出会えて、今では、もっとサロン活動を広げ、地域の方に役立ちたいと思っています。

交流の場、 居場所をつくる



楽しみながら健康づくりを！

及川早苗さん

健康づくりを楽しむ会

区の健康づくり推進員になったことをきっかけに、高齢者も多く暮らすマンションでの健康づくりの活動を始めました。セキュリティが良く鍵一つで生活できる便利さはありますが、住人同士の交流が少なく、都会のマンション生活で老いを迎えることには危険性があることにも気がつきました。活動を通じて、いつまでも健康に、そして万が一の助け合いを進めたいと思っています。

障がいのある人も多様な
社会参加ができるように



堀田徹さん
千代田区障害者福祉センター えみふる

えみふるでは、障がいのある方の地域生活を支援する施設として開設し今年で10周年を迎えます。地域との交流を大切にしており、区民の方に参加いただけるイベントを行うと共に、障がい者が多様な人に出会ったり、自分の得意を活かしたボランティアなど社会参加の機会を広げたいと考えています。

「これができたら人生満足」を
お手伝い



峯俊美さん
すみれボランティア

かんだ連雀（介護福祉施設）を拠点に地域でお住いのお年寄り向けのボランティア活動を行っています。コーヒーを飲みに行く、洋服を買いに行く、落語を聞きに行くなど、介護保険では貰えない「これが出来たら人生満足！」と思える趣味嗜好のお手伝いをしています。



絵手紙で地域の通いの場を

絵手紙さくらの会
(三崎町ふれあいサロン)

元々区の介護予防教室の絵手紙教室をお手伝いしていましたが、教室の参加者のみなさんの続けたいという声に押され、自主グループを立ち上げました。下手でもいい、楽しんで書きましょうがモットーです。高齢者の方が毎回、楽しみに参加してくださるのが、やりがいとなっています。



地域の介護予防に貢献！

今井悠人さん
富士見二丁目町会
福祉部副部長

地域介護予防に貢献したいと起業して、区の介護予防講座の講師などもしています。イベントでの出会いをきっかけに、生まれ育った町の富士見二丁目町会の人との出会い、町会の福祉部の活動にも関わるようになりました。

千代田区社会福祉協議会
つながりのきっかけにご活用ください！

社会福祉協議会は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域福祉活動の支援、ボランティア支援を行う団体です。区と連携して、活動のヒントになる講座、地域のつながりを進めるボランティア団体（登録160団体）やサロン活動の支援、ふれあい福祉まつり、高齢化する地域の課題を話し合う「ささえ愛まち会議」などを行っています。また、千代田の特徴として、町会と連携した町会福祉部活動を推進し、ご近所の支え合いを応援しています。また、企業の多い地域を反映し、在勤者、在学者のボランティア活動、防災活動にも力を入れています。色々な機会があります。自分に合うものを探しにきてみてください！



町会とは、どのような存在でしょうか？

「町会」は、町に住む人たちが中心になり、自分たちの町を自分たちで守り、より暮らしやすくしていこうと協力し合う団体として存在しています。地域のつながりを深めるイベントなどの交流活動、区や警察や消防とも連携した防災・防犯の活動、子育てや高齢者の暮らしを互助で支える活動、町の清掃などの暮らしの環境整備、伝統ある祭りへの参加など、地域を守り立てる活動をしています。

新しく住み始めた方やお店を始めた方には、これまで町会などの地域活動に参加したことのない方、活動のイメージを持たないと思う方、負担感が大きいのでは?と懸念している方もいるかもしれません。

町会の基本には、町が好きという気持ちと、町で住み、働く人たちの交流を通しての信頼関係があります。新しく来たばかりで、急にその町に愛着を持つことも、既に長く深くつながっている関係の中に入ることも難しいことは、町会員もわかっています。

まず、町を歩いてみて、いいな、面白いなと思うことから始めるのもいいでしょう。区内各地にある町名由来板を見て、この町の歴史やこれまで思いをはせてみてください。そして、身近で行われているイベントに顔を出してみてください。その時、運営している人に「最近、住み始めたのですが…」と声をかけてみてください。人や町と出会うところから始めてみませんか?



町会は地域のつながりの窓口に

令和元年度の千代田区民世論調査では、約7割の人が「地域でのつながりを充実させたい」と回答しています。

近隣の人も含めて、地域とどうつながるといいでしょうか?

そこで、「地域でのつながりに窓口となる人がいる」と回答した3割に、どういった方が窓口か聞いてみると、「町会関係者」が半数を占めました。

町会との関わりは、地域の様々な人や機関につながるきっかけとなっています。



町会でつながる

町会は新しい人の 参加を待っています

町の魅力と町の顔を情報発信!

「大好き神田」(神田公園地区連合町会)、「こちら神保町」(神保町地区連合町会)、「麹町隈わがまち情報館」(麹町出張所地区連合町会)など、ホームページやfacebookで地域情報を発信している町会や連合町会が増えています。

神田公園地区連合町会では2018年に新住民の方にもっと神田ライフを楽しんでもらいたいと、「神田住みこなしガイドブック」を作成しました。町会の方に問い合わせてみて下さい。「大好き神田」からもダウンロードできます。



10年後を見据えて、町会のことを考えよう

和泉橋出張所地区の3連合町会(神田駅東連合町会、岩本町東神田町会連合会、秋葉原東部町会連合会)の25町会の青年部長が集まり、2018～19年に、地域の状況が変化する中でのこれから町会について議論しました(和泉橋ミライ会議)。その話し合いを踏まえて、これから10年の間に議論を深めたい論点、取り組んでいきたいことをまとめました。町会によって状況や課題は違いますが、大きな変化の時が来ているのは共通しています。町会を超えて、一緒に考えていきませんか?

町会青年部って?

町会の若手(凡そ40代を中心)は青年部として、祭りやイベントの運営の中心として活動しています。他にも、婦人部、文化部、福祉部など町会の状況に応じて部会があります。



和泉橋ミライ会議からの報告

- 地域に住む人がつながり、自分達の暮らしを自分達で守る町会の活動を、新しい世代にも引き継ぎ、町に誇りを持って暮らす人が増えてほしい。
- 近年、町会内で生まれ育ち、長く住み続ける人が少数になってきているため、これまで町会に参加できていない住民、新しく住み始めた人、働く人の力も必要となっている。
- ただし、多様な価値観を持ち、住み始めてから日が浅く町での共有体験を持たない人、町会員から顔の見えない人も増えているため、町会には新しいアプローチが必要となる。
- 次の代に承継していくためには、活動の内容や運営方法、コミュニケーションの仕方に新しい発想や手法を取り入れることが大切になる。
- ▶ 人も関係性も、より多様なものにしていく
声かけ、ホームページ、話し合いの場の充実
- ▶ 組織・運営を見る化していく
◎活動や情報の共有 ◎参加・運営の柔軟さ
◎役職を任せることができる担い手の育成
- ▶ 資産管理の組織的対応が必要
- ▶ 軸となる「地域への思い」を大切にしていく

新しく住み始めた人にとって 町会の楽しさって?



吉田春恵さん

錦町三丁目第一町会 IT部



堀井市朗さん

錦町三丁目第一町会 会長
民生委員



杉田宗一さん

四番町町会 会長



自分の地元愛に気づき、 驚いています

森山洋一さん

富士見在住、富士見二丁目町会 広報部/会計部部長

千代田区に住み始めたものの、仕事も忙しくて、ご近所づきあいもなく、ずっとこの先こうした状況で大丈夫かなと不安に思っていたところ、「神田祭に参加しませんか」という町会からの案内を見て、「これだ」と応募したのが、町会活動への参加のきっかけです。町会に参加してみて、お勧めのお店などを教えてもらうことで、町をぐっと身近に感じることができました。自分の業界でない人と地域で出会うことは仕事の上でも大変刺激になってます。祭りやイベントと一緒に活動する中で、心割って話せる知人が増え、声をかけて食事したり、一緒に遊びに行く人もできました。

今ではSEのスキルを活かし、町会や連合町会のホームページやIT活用を手伝っています。

明治から100年以上続く神田更科の4代目です。新しく住み始めた方にも、江戸から続く町名を誇りに、その町で産まれ育ち、そして働いている人がいることを知っていただければと思っています。町の安全・安心のパトロール、一斉清掃、交通安全、子供達の見守り、そして千代田区の運動会、みんながボランティアで町の為に汗を流しています。これらの活動の10年後20年後を考えた時、新しい住民の方の力が必要です。私も積極的に声掛けをしており、祭り、レクリエーション、流しそうめんなど、新しい方も気軽に参加できる企画もしています。歴史や文化を知ってもらなががら、新しいことを一緒に始めていけたらと思っています。

番町地区では大規模マンションが増え、再開発も進んでいます。四番町町会には、現役会社員の方も参加し、災害への備えや交流を進めています。山王祭、日本テレビ大通り振興会「納涼盆踊り」、番町連合による「ししまい、もちつき大会」など、番町に住む子供たちに日本の伝統的な風物詩を体験してもらえたたらと思っています。春の潮干狩りや国立劇場歌舞伎鑑賞会などユニークな企画にも取り組んでいます。イベントをきっかけに、地域のことに興味を持ったら、町会員に声をかけていただければと思っています。

地元の4代目ですが、ずっと会社員で働いていたため、これまで地域との関わりはなく、むしろ避けていたくらいでした。ところが、定年退職後にマンション管理組合の理事長となり、そこで知り合ったご夫妻が地域活動を始めたのをきっかけに、地域活動や町会のホームページづくりに参加するようになりました。町会行事の取材記事に加えて、地元に役立つ情報収集にアンテナを広げています。これまであまり町会に関わっていなかった視点からの情報発信によって、新住民のみなさんにも、地域や町会の活動を知ってもらえたと熱心に活動するようになりました。どうしてこんなに熱中するかと自問自答したところ、「地元愛」が自分にもあったことに気づき、驚きつつも、充実した毎日を送っています。



古書店街を次世代に継ぐ
方法を地域と考える

インター
ユニバーシティ
神保町
明治大学等



時空を超えて千代田を
ヴァーチャル散歩

千代田区
ヴァーチャル
時空散歩アプリ
ちよダッシュ
日本大学文理学部
田中ゆかり先生

神保町の「本の街」という個性と伝統をどう残していくかを、明治大学、東京都市大学と地元の方と一緒に検討しているプロジェクトです。「まちの図書館」がビジョンです。神保町のまちで、店頭に本が並ぶ風景を残したいが書店での購買が減っていたり、店の老朽化といった課題に対して、神保町の魅力の掘り起しや街並みを残すための建替え・土地利用などについて検討しています。

千代田の魅力を
ふるさと検定で伝える



千代田区
ふるさと検定
共立女子大学家政学部
本澤淳子先生

千代田区は江戸・東京の中心地であるため、多数の歴史・文化財があります。そこで、それらに関する標柱・説明板の情報や写真などをWebの地図上に配置し、古地図を透かし見られる「江戸・東京 WebGIS」を開発しました。さらに、スマートフォン用アプリ「ちよダッシュ！」にはスタンプ機能も搭載されています。検定を通して、千代田区についてさらに理解を深め、愛着・誇りをより持つてもらえるようになればと思います。

ものづくりで多様な人が
自由に交流・情報交換



ものづくり館
by YKK
(秋葉原)

ファスナーやボタンなどのメーカーであるYKKが、「ものづくりの楽しさ」を発信するコミュニティ施設です。本格的な縫製から簡単なものづくり体験まで、老若男女誰でも楽しめるワークショップを沢山開催しています。地域の活動団体とのコラボイベントも開催し、一緒に地域を盛り上げたいと思っています。

つながりから
より良い暮らしの実現へ



半蔵門・麹町の
ENGAWA

(株式会社LIFULL/
半蔵門)

千代田区への本社移転をきっかけに、自社オフィスビルに、ワークスペースのLIFULL HUB、マーカースペースのLIFULL Fab、飲食スペースのLIFULL Tableを作りました。「ENGAWA」をキーワークセントリックに、地域の人と人・活動と活動が緩やかにつながる場になればと思います。地域の方が参加できるワークショップやイベントなどの開催しているほか、オンラインでの動画配信も予定しています。

麹町×和歌山
ヒト、モノ、コトをつなぐ



C-WORK
(シティコンピューター
株式会社/麹町)

麹町2丁目にあるC-WORKは和歌山にある企業が運営している貸スペース・シェアオフィスです。麹町に住んでいる人、働く人への欠かせない拠点になりたいと「近隣プラン」なども用意しています。スペース貸しだけでなく、ビジネスマッチングや和歌山ヒトモノコト交流会の主催や麹町のイベント参加など、和歌山と麹町の縁結び、地域のみなさんとのつながりを大切にしながら運営をしています。

とつながる



大学・
専門学校

学生が地域に参加し、
共にチャレンジする



明大まちづくり道場
明治大学
社会連携機構

「母校の街に音楽を通じて恩返しを」と、明治大学OBの音楽家宇崎竜童氏を道場主に、社会連携の一環として、約30名の学生で活動しています。千代田区のイベント（お茶の水JAZZ祭、神田カレーフェスティバルなど）に、「地域を盛り上げるために何ができるか」を念頭に、地域の輪の一員という思いで参加しています。



共に生きる社会の
実現を目指して

NPO法人国際ボランティア
学生協会IVUSA（市ヶ谷）

全国77大学・約3,600人の学生が所属しているボランティア団体です。市ヶ谷支部では、千代田区で、子ども防災教育をしています。夏休みの自由研究に「家具転倒」等をテーマにしてもらいたい、命を守るために何が大事かを家族と一緒に学んでもらいたいと思っています。その他にも学生のマンパワーを活かして、千代田区の方のニーズに合った企画をして、防災や地域のつながりづくりに貢献したいです。



千代田の生物多様性の
豊かさを野鳥観察で伝える

千代田区バードサンクチュアリ化
プロジェクト
大妻女子大学比較文化学部
高田馨理先生

豊かさを野鳥観察で伝える 千鳥ヶ淵や北の丸公園で親子向けのバードウォッチングを行い野鳥の多様性を学ぶ講座を開催しています。私自身、赴任当初、沢山の鳥が千代田区にいることに感動し、このプロジェクトを立ち上げました。子供たちに千代田区の自然の豊かさや生物多様性を感じてもらい、自然をより大切に思ってもらえたと思います。



コミュニティバス
風ぐるまの活用を考える

「風ぐるま」の活用方法の検証
・法政大学大学院 政策創造研究科
・専修大学商学部

千代田区内を運行している地域福祉交通の風ぐるまの有効活動を検討するために、いくつかの大学が活用展開について研究しています。利用実態のアンケートから、認知度アップのためのラッピングバスの提案や、他の交通機関との接続の検討、観光地への移動手段としての利用の可能性などを提案しています。

企業・事業者のつくる
交流の場所



集い、シェアする場
シェア型複合施設
the C
(内神田)

シェアアパートメント、シェアオフィス、レンタルスペースの3つの機能が融合するシェア型複合施設です。キッチン付きレンタルスペースC-Loungeでは、パーティ、セミナー、ミーティングの他、料理教室や食を伴うイベントの開催も可能です。また、地方の発信拠点としても活用されています。



錦町ブンカイサン
(神田錦町)

神田錦町にある食住業近接コミュニティビル。1Fと2Fの、キッチンとギャラリーのあるコミュニティスペース「風土はfoodから」は、様々な地域が食を通じてつながる場。レンタルスペースとしても利用でき、食や教育、コミュニティにまつわるイベントなどを開催しています。

公的な学びの場

千代田区立 九段生涯学習館

主に在住・在勤・在学者の方の学びをサポート。各種講座の提供や、講座終了後のサークル立ち上げや活動を支援しています。また、人材バンクに登録することで、講師として得意なことを活かし地域に貢献することもできます。3月にはサークル間の交流を深め、そして活動を外へ向けて発信、発表をするための「九段フェス」も開催しています。

大人が自ら学び、仲間を見つけ学びあう

ちよだ生涯学習カレッジ

千代田区在住・在勤・在学者を対象に、学びで人と地域をつなぐ「学びと地域のコーディネーター」、自らの言葉で千代田を語ることのできる「千代田まちマイスター」の養成とサポートを行っています。2年間のプログラムで、もっと地域のことが知りたい、地域参加の一歩をしたい方などが、参加しています。

性差に関係なく誰もが社会に参画できる社会へ

千代田区 男女共同参画センター MIW

性別による不平等がなく、誰もが自分で生き方を選び、その選択が認められて社会に参画ができる社会を目指しています。関連イベントやカフェなどの開催や相談事業などを行っています。また、区民などによる登録団体の活動支援も行っており、秋には登録団体によるMIW祭りも開催しています。